

ARTは周産期の母子感染予防の重要な要素

- 周産期の母子感染予防のため、HIV感染妊婦に対してARTによる効果的な管理を行うことが重要である。
- Pediatric AIDS Clinical Trials Group Study 076より、母親（妊娠中および分娩時）と新生児（生後6週間）に対するジドブジン（ZDV）単剤投与は、周産期の母子感染リスクの67%減少につながることを示された¹。
- 米国および欧州における現行の周産期の母子感染予防に関する診療ガイドラインでは、母親に対する治療としてZDV単剤療法よりも3剤併用ARTを推奨している²⁻⁵。